

平山町政について



竹原 亜生

質問

平山町政の成果は

町 持続可能な行政運営・財政健全化などを進める

問 平山町政の1年間の成果は。

答 財政健全化を図り、平成30年度の繰越金は9億円の見込みだ。令和元年予算においても町債借入の削減に努めた。

また、職員の意見交換を活性化し、やりがいのある職場を作っていく。

問 行財政改革プランで計画していない新規事業の財源をどのように確保するのか。

答 国・県補助金の積極導入を図る。また中期的財政シミュレーションを作成する。

問 放射性指定廃棄物の暫定集約の進捗状況は。

答 県市町長会議にて暫定集約の方針をまとめた。現在集約場所の選定を慎重に行っている。



この一般質問の映像はこちらから

指定廃棄物・除染土壌等
現場保管量



暫定集約保管
必要置場面積は約4ha

問 町民のほとんどの庭に除染土壌等がまったく管理されない状態で見捨てられている。町が仮置場に集約し、保管・管理することを町民は望んでいるが。

答 指定廃棄物のみではなく、除染土壌等の集約を合わせて考えている。

不登校について

質問

小中学校の不登校の実態は

町 不登校率は全国平均より高い

問 不登校の状況は。

答 小学校16名1.7%、中学校34名6.1%である。平成26年以降の推移は、33名、46名、47名、56名、50名となっている。

問 不登校となる理由は。

答 友人関係、無気力傾向、発達障害などがある。

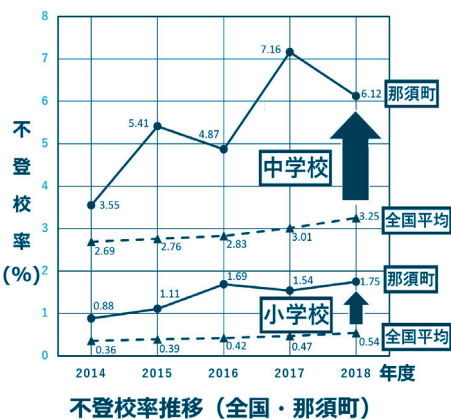
問 不登校対策は。

答 未然防止対策として、人間関係プログラム、各種相談・指導、^{※1}ハイパーQUTテストによる早期予防などを実施している。

問 嫌なことがない学校にするため「自分がされて嫌なことは人にしない、言わない」を学校目標にしたらどうか。

答 学校目標の「思いやりのある子」の合言葉としてやっていくのが良い。

※ほかに「副町長職について」「会計課業務について」の質問もしています。



問 今後、様々な方法で学びの機会の提供を考えていきたい。

答 コミュニケーション力の育成をねらいとしてスキルを体験的に学習すること。

※1「QUT」というやる気のあるクラスをつくるためのアンケート「じいちゃんのおじいちゃんに話しかける」のほかに「ふだん(自帯)の行動をふりかえるアンケート」が加わった、3つの心理テストから構成されているもの。